

Ⅱ 台風災害等への対応

1 平成28年台風第10号災害への対応

① 被害状況

平成28年8月30日、台風第10号上陸に伴う大雨、暴風、波浪により、久慈市、岩泉町、宮古市など沿岸部を中心に、甚大な被害が発生しました。



久慈市内の被害状況



小本川流域の被害状況（岩泉町）



国道106号の被害状況（宮古市）

② 洪水対策

安全・安心

河川では、岩泉町の小本川等が氾濫し、多数の家屋が浸水する等、甚大な被害が発生しました。

このことから、河川施設の復旧に併せて治水安全度を向上させるため、小本川などに導入した河川改修事業では、令和5年度までに長沢川など4河川が完了しました。令和7年度は、小本川で河道拡幅や護岸の整備を進め、家屋の床上浸水被害等の解消を図ります。

なお、河道内の堆積土砂や立木の除去を継続して計画的に実施しています。



小本川 市街地区 施工状況（岩泉町）



小本川 流木捕捉工 完成（岩泉町）

③ 土砂災害対策

安全・安心

土砂災害は、岩泉町を中心に岩手県内155箇所が発生し、家屋等に甚大な被害を及ぼしました。このことから、土石流による家屋への被害が大きかった箇所等で、砂防堰堤を整備しています。

今後の出水により、下流に著しい被害を与えるおそれがある岩泉町内14箇所では、平成29年度から砂防激甚災害対策特別緊急事業等を導入して整備を進め、令和6年3月までに13箇所が完成しました。令和7年度は、岩泉町本銅口の沢において、砂防堰堤工事等を実施します。



被害状況：本銅口の沢（岩泉町）



砂防堰堤完成状況：大沢（6）（岩泉町）

2 令和元年東日本台風災害への対応

① 被害状況

令和元年10月12日から13日にかけて岩手県に接近した台風第19号により沿岸の広い範囲で記録的な大雨となり、沿岸部を中心に甚大な被害が発生しました。



主要地方道重茂半島線の崩落（宮古市）



土石流の発生（釜石市）

② 洪水対策等

安全・安心

溢水による浸水被害が発生した小屋畑川（久慈市）などでは、早期の治水安全度向上のため、令和3年度から浸水対策重点地域緊急事業を導入し、河川の切替え等を推進しています。



被害状況：小屋畑川（久慈市）



小屋畑川 河川切替え等の施工状況（久慈市）



③ 土砂災害対策

安全・安心

土砂災害は、釜石市を中心に岩手県内98箇所が発生し、家屋等に甚大な被害を及ぼしました。このことから、土石流による家屋への被害が大きかった箇所等で、砂防堰堤を整備しています。今後の出水により、下流に著しい被害を与えるおそれがある沿岸地域17箇所では、令和2年度から砂防激甚災害対策特別緊急事業を導入して整備を進め、令和6年3月までに全箇所が完成しました。

<砂防堰堤完成状況>



田ノ浜沢（3）（山田町）



尾崎白浜の沢（6）（釜石市）

3 令和4年8月豪雨災害への対応

① 被害状況

令和4年8月3日の豪雨により、久慈市、一戸町、葛巻町など県北部を中心に、甚大な被害が発生しました。



一戸町内の被害状況



一般県道姉帯戸田線の被害状況（一戸町）

② 洪水対策

安全・安心

河川では、一戸町の馬淵川等が氾濫し、多数の家屋が浸水する等、甚大な被害が発生しました。このことから、河道断面を確保するため、堆積土砂の掘削等を進めています。

また、河川施設の復旧に併せて、治水安全度を向上させるため河川改修を実施します。

令和7年度は、岩手県で初めてとなる「特定都市河川」の指定に向け、関係市町と連携し取り組んでいきます。



馬淵川 市街地付近の出水状況（一戸町）



岩根橋付近の浸水状況（一戸町）

③ 土砂災害対策

安全・安心

土砂災害は、一戸町を中心に岩手県内6箇所で発生し、このうち、土石流による家屋への被害が大きかった箇所等で、砂防堰堤を整備します。

今後の出水により、下流に著しい被害を与えるおそれがある3箇所では、災害関連緊急砂防事業等を導入して整備を進め、洗場沢、小安孫沢については、令和6年10月に強靱ワイヤーネットによる緊急対策が完了しました。

令和7年度は、葛巻町岩泉町の国境の沢(8)において、砂防堰堤工事等を実施します。



被害状況：国境の沢（8）（岩泉町）

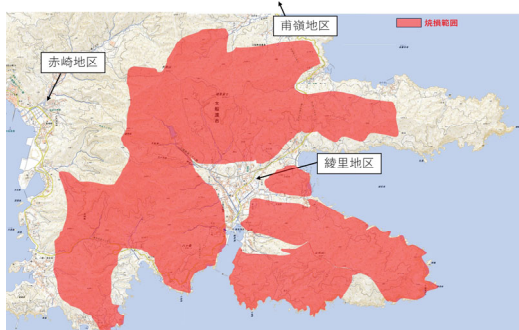


緊急対策完了状況：小安孫沢（葛巻町）

4 大船渡市林野火災への対応

① 被害状況

令和7年2月26日に大船渡市で発生した林野火災では、焼損面積が約3,370ヘクタール、住家や水産関連施設等も被災するなど、甚大な被害が発生しました。



大船渡市内の被害状況



森林の焼損状況（大船渡市瀬里地区）

県では、今後の復旧・復興に向け取り組むべき課題として、「くらしの再建」、「なりわいの再生」、「インフラの整備」の3つの柱を掲げ、取組を推進しています。

② 住宅の確保

「くらしの再建」として、大船渡市からの要請を踏まえ2地区に応急仮設住宅を建設し、5月17日から入居が始まっています。



応急仮設住宅の整備状況（旧綾里中学校）



応急仮設住宅の整備状況（旧蛸ノ浦小学校）

③ 土砂災害対策 安全・安心

「インフラの整備」として、流域の森林の過半が焼損した土砂災害警戒区域において、森林が復旧するまでの間、土石流被害の防止・軽減を図るための緊急的な対策等を進めています。

また、今後の出水により、下流に著しい被害を与えるおそれがある5箇所では、災害関連緊急砂防事業等を導入して整備を進めます。



被害状況：坂本の沢（大船渡市）



被害状況：石浜の沢（4）（大船渡市）